

『わが子を「やわな大人」にしない子育て』

(高濱正伸著、廣済堂、2012.10.)

著者は花丸学習会の代表。以前はよくTVでもコメントしていました。著者が体験を通して訴えたいことがよく分かる本です。印象に残る箇所を紹介します。

◆つよい心をもつために、絶対に欠かせない6つの力

- | | |
|-------------|------------|
| 1 身体を突き動かす力 | 2 立ち向かう力 |
| 3 自分と向き合う力 | 4 心を切り替える力 |
| 5 自分を律する力 | 6 人を受け入れる力 |

◆当たり前の挨拶のしかたとは

- ① 声が大きく、ハキハキしていること
- ② 相手の顔を見て言うこと
- ③ 立ち止まって挨拶すること

◆親のいいなりに育った子は、人生ではじめての挫折が就活となり、立ち直れず就職できないことが、少なくない。

◆世間を切り捨てる「合わない症候群」

「クラスのあの子とは合わない」「アイツとぼくとは合わない」

「あの先生とは合わない」「あの上司とはウマが合わない」

「この会社、私には合わない」「この仕事、ぼくには合わない」

行き着く先は、メシを食うことからの逃避。つまり、ニートやひきこもり。